

ほけんだより 9月

令和2年8月31日

横浜市立山内小学校

1923年の9月1日に関東大震災が起きたことから、この日を「防災の日」と定め、日本各地で防災訓練が行われるようになりました。自然災害はいつ、どこで起こるかわかりません。また、災害への備えと同時に、新型コロナウイルスへの対策を行う必要があります。いのちを守るという視点で、身の回りを見直しましょう。

避難場所と避難経路

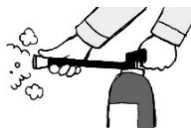
- 家の近くの避難場所はどこですか？
- 避難場所以外に「難」を「避ける」場所がありますか？
- どの道を通って行きますか？
いつもの道が安全とは限りません。近道だけでなく、回り道も調べておきましょう。

家族との連絡のとり方

- 自分の家の住所、家や携帯の電話番号、家族の名前は言えますか？
- 災害伝言ダイヤルの番号は**171**です。音声案内にしたがって使います。

消火器の使い方

- ①安全ピンを引き抜く
- ②ホースを火元に向ける
- ③レバーを強くにぎる



準備しておきたいもの



- 一次持ち出し品
避難するとき、すぐ持ち出す必要最低限の備えで、最初の1日をしのぐもの。

水、そのまま食べられる非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、現金、救急医療品（持病の薬含む）、マスク、生活用品など。

- 二次持ち出し品
救援物資が届くまでの数日間を過ごすためのもの。避難後、安全を確認してから自宅に戻り、持ち出します。水や食料は最低でも3日分を備えておきましょう。賞味期限・使用期限も確認を！

- あるとよい物
 - ・レジャーシート(保温や雨避け)
 - ・乾電池、携帯電話用バッテリー
 - ・ウエットティッシュ

大きな災害を家族だけの力で乗り越えることはとても難しいです。地域防災訓練などに積極的に参加して、日ごろから地域の人たちとのつながりを作るように心がけましょう。

保護者の方へ

- 健康診断の結果を受けて受診された方は、『受診報告書』をご提出ください。病院での記入に文書料が必要な場合は、保護者の方が記入してください。